

重点テーマ 主な取組(想定)一覧

(1) 豊かな自然や環境の保全・充実	<p>○ 多様な主体の連携による自然環境の保全と再生 森里川海がコンパクトに揃い、それらを守り、育てる活動が活発な状況をより一層発展させるため、おだわら環境市民ネットワーク、大学、行政等が連携し、環境活動の経済性を伴った仕組みづくりや具体の活動を進めるとともに、森里川海オールインワンのエコシティ・小田原を広くPRします。</p> <p>○ エネルギーの地域自給に向けた取組の推進 【戦略⑧】 災害緊急時等の対応や産業としての観点も踏まえ、地域で消費するエネルギーを地域でつくるエネルギーの地域自給を目指し、官民連携により、再生可能エネルギーの導入促進、省エネルギー化の推進、担い手育成等の取組を推進します。</p> <p>○ いのちを支える食の生産基盤の強化 市民の身近な自然環境であり、かつ「いのち」を支える食の生産基盤でもある農地や里山をしっかり守り活用すべく、耕作放棄地の復原や活用、さらには担い手の確保・育成に取り組めます。</p>
(2) 課題山積の時代を担う人づくり	<p>○ 地域資源を生かした様々な世代の学びの場づくり 子どもからシニアまで様々な世代の人たちが社会を共に担っていく人として育ち活躍できるよう、既存の講座などを体系的に整理したうえで、民間や教育機関等とも連携し、連続講座などによりまちづくりの担い手を育成する学びの場(仮称 おだわら藩校)づくりに取り組めます。</p> <p>○ 創業者の発掘・育成・支援の一元的な展開の促進 【戦略①】 関係団体や行政等がそれぞれの強みを活かして連携し、窓口のワンストップ化やきめ細かな対応を充実させた創業支援等を展開し、地域産業の新たな担い手となる人材育成を推進します。</p> <p>○ プロダクティブ・エイジングの推進 シニア世代になっても、元気に活動を続け地域の元気・活力につながる生き方をさせていただくために、シニアと様々な活動をつなぐプラットフォーム機能となるシニアバンクやセカンドライフ応援セミナーを中心に、シニアの活躍の場とその領域を拡大する取組を進めます。</p>
(3) 地域コミュニティモデルの進化	<p>○ 目指すべき地域コミュニティ像の確立に向けた取組の推進 目指すべき地域コミュニティ像を明確にし、各地域コミュニティ組織で主体的なまちづくりや課題解決に向けた取組が円滑に進められるよう、地域活動の連携促進や担い手育成支援、市職員の地域への対応体制等の強化とあわせ、地域活動の拠点確保に向けた取組を進めます。</p> <p>○ 多様な子どもの居場所の連携と進化 家庭、学校、地域、行政等がそれぞれの役割を担いつつ、地域における子どもの居場所、放課後児童クラブや放課後子ども教室が連携することで、子どもたちが安全・安心に過ごせる豊かな育ちの場づくりの取組を進めます。</p>
(4) いのちを育て・守り・支える	<p>○ 妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援体制の整備 【戦略⑤】 妊娠期から子育て期にわたるまでの母子健康や育児に関する悩み等に円滑に対応するため、専門的な見地から相談・支援等を実施するとともに、(仮)子育て世代包括支援センターなどの拠点を設置し、切れ目のない支援体制を構築します。</p> <p>○ 未病を改善する取組と連携した市民の健康増進活動(運動・食)の促進 【戦略⑥】 健康と病気の間にある状態(未病)を改善する県の取組や民間の取組と連携し、運動やスポーツ、食に関する市民の健康増進活動を促進します。</p> <p>○ 地域包括ケア体制づくりとケアタウン構想の推進 要介護高齢者に対し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に提供される体制(包括ケアシステム)の構築を進めるとともに、高齢者、障がい者、子育て家庭など、支援を必要とする方々を地域全体で支えあう仕組みづくり(ケアタウン構想)を推進します。</p>

(5) 「分かち合いの社会」の創造
<ul style="list-style-type: none"> ○ 行財政改革の推進 (仮)第2次行政改革指針のもと、市民ニーズ等を的確に把握しつつ行政経営資源を適切に配分することにより、価値ある行政サービスを提供する仕組みを構築するとともに、減量型の改革と質の向上を両立させる行財政改革を進めます。 ○ 「分かち合いの社会」づくりの検討とその展開 「分かち合いの社会」懇談会を設置し、行政サービスの維持や更新に係る「受益と負担」のあり方や、経済格差への対処などのテーマについて議論し、その取組を展開していきます。
(6) 「観光」による地域経済活性化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光戦略ビジョンに基づく観光まちづくりの推進 【戦略④】 観光戦略ビジョンに基づき、観光DMOを中心とした事業展開に加え、まち歩き観光の推進、今後増加が見込まれる外国人観光客への対応、小田原城を核としたコンテンツの充実等、地域が一体となって様々な取組を総合的に進めていきます。 ○ 観光分野との連携等による農林水産業・ものづくりの振興 【戦略②】 地産地消型の生産・消費の促進、ブランド化の取組、6次産業化の推進、交流や体験を含む観光分野との連携などにより稼ぐ力を引き出し、農林水産業の振興を図るとともに、ものづくり分野の活性化を支援します。 ○ 東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした活性化(経済・文化・スポーツ) 【戦略⑥】 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を最大限に生かすため、事前キャンプ誘致や誘客促進、文化プログラムの展開、地域スポーツの振興を図るとともに、ラグビー日本代表チームの合宿地となることを都市セールスや地域活性化につなげる取組を推進します。 ○ しごとと暮らし(住まい)をつないだ定住促進 【戦略③】 自然豊かな地で暮らしとしごとの両立ができることや、一次産業、創業支援環境など魅力ある職に関する情報を発信し、ひとの流れを生み出します。
(7) 重要なまちづくり案件の適切な実現
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小田原駅・小田原城周辺のまちづくりの推進 官民それぞれの整備が進み都市としての顔立ちが整いつつある小田原駅周辺では、お城通り地区再開発事業や民間再開発の支援等を進めるとともに、小田原城周辺では、史跡小田原城跡や芸術文化創造拠点の整備を進め、賑わいの創出や回遊性の向上につなげていきます。 ○ まちなかの賑わい創出や回遊性向上に向けた街並みづくりの推進 【戦略⑦】 まちなかの賑わい創出や回遊性向上に向け、お堀端通りやかまぼこ通り等の地域の主体的な動きと連動した修景整備や、地域の資産である歴史的建造物の保全・活用、歩いて楽しい歩行者空間の創造等に取り組めます。
(8) インフラ・公共施設の維持と再配置
<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下水道・道路・橋りょう等社会インフラの着実な修繕・更新 道路、橋りょう、上水道、下水道といった種類ごとの特性を考慮し、経営的な視点に基づくそれぞれの整備計画等に則し、計画的な維持保全を行うことで、安全でより持続性の高い維持管理を進め、ライフサイクルコストを考慮した長寿命化に取り組めます。 ○ 公共施設再編に向けた計画策定と老朽化施設の長寿命化の取組の推進 市有施設の長期保全計画の運用とあわせ、施設に関する情報を一元管理し、統廃合や複合化などを計画的に行います。また、民間の活力を生かした施設の整備・管理運営手法の導入を促進し、公共施設のライフサイクルコストの低減を図ります。
(9) 基礎自治体としてのあり方の見極め
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会による合併や広域連携制度の検討・協議 安定的な行政サービス提供体制をつくるため、「合併」「大都市制度」「広域連携」について、小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会において、平成29年中を目途に検討・協議を行います。

※【戦略】の表記は小田原市創生総合戦略に位置づけた重点的な取組